

2025年度要員計画

2025年4月23日、名古屋地本は「2025年度要員計画について」会社から説明を受け細部について議論を行いました。会社はワンマン拡大による過去に例の無い規模の要員見直しを説明しました。組合からは現場の実態を中心にして議論を進めました。以下、主な説明とやりとりです。

《会社の主な説明内容》

- ・システム化・省力化による要員減は△101
- ・出向計画は約20人
- ・昨年度の退職実績は定年退職が5人、その他退職が54人
- ・専任社員数は123人減の304人
- ・乗務員養成計画では運転士が約100人、車掌が約90人

《主な議論》

要員数について

組合:昨年度の年休消化実績を示すこと。

会社:全体では18日、駅18日、運輸19日、車両17日、施設18日、電気15日、非現17日である。

組合:希望日に発給されないのでは年給が出ないと感じる社員が多い。

会社:希望日にすべて発休することは難しい。

組合:施設・電気の必要人数に対しての社員数が減少している。退職者が相次いでいると聞いている。電気の年休発給数も減少している。ギリギリで回っている状況ではないか。

会社:余裕があるかと言えばそうではない。退職者は想定以上に増えてはいる。

組合:基礎的な安全に大きく関わる事であるから心配する。対策が必要だ。全体として育休にも対応できるように、余裕のある状況が必要だ。

採用実績、退職実績、専任社員数について

組合:運輸での高卒採用が。昨年から22名増の55名となったが理由はあるのか。

会社:退職者や育児休職者の動向を見て、総合的に勘案した。

組合:各地域で幅広い採用をお願いしたい。

会社:受ける人数が増えれば、幅広い採用となるだろう。

組合:54歳に達した日以降の出向の実態はどうか。

会社:昨年度計画は20名のところ27名が出向に出た。

乗務員養成

組合:昨年の乗務員養成について説明すること。

会社:乗務員の養成計画では運転士が昨年度80名予定し、70人だった。車掌は計画通り90名養成できた。

組合:育休等があっても、年休が発給できるよう計画的な養成が必要だ。

その他

組合:駅移動について説明すること。

会社:駅異動をしたのは34名、再異動としたのは10名。

組合:休日出勤について説明すること。

会社:昨年度はほとんど発生していない。

システム化・省力化等

会社:・神領車両区では315系に統一したことにより泊まり勤務を日勤にしたため、△2名。

・名古屋工場においては△7となるが、仕業検査やエンジン試験を直営とすることにより、美濃太田車両区+5、名古屋工場+2となり、最終的には差し引き無しとする予定である。

・豊橋駅は昨年提案していたサポート付き券売機設置による窓口一部閉鎖は、サポート付き券売機設置不具合の為に延期としていた。不具合が解消したため実施する。△6名となる。

・名古屋駅立ち番の廃止し、接客担当1徹、放送担当2徹、交代担当で操車1徹で△9名。

・飯田線でのワンマン運転区間拡大のため、豊橋運輸区・伊那松島運輸区において車掌△40名。

・武豊線・関西線において315系4両ワンマン運転開始のため、名古屋・亀山・伊勢運輸区から車掌△40名。亀山運輸区においては車掌配置がなくなる見込みである。

組合:非常に大きな規模の効率化だ。名古屋駅の立ち番廃止後、案内担当は2名で各線区の放送はできるのか。異常時にはサービス低下を懸念する。

会社:他社の状況も見ながら設定している。異常時は明け等の社員からも協力頂く。

組合:配置換え等は考えているのか。

会社:信号の担務者はそのままであったり、駅異動の方は運輸職場へ戻ったりだとか。

組合:車掌で△80名、駅で△15名。駅・運輸で△95名。亀山運輸区では車掌配置がなくなると

いう非常に重い提案だ。これによる出向等は考えているのか。

会社：現時点ではない。これを起因としての出向はない。

組合：バス会社への出向が噂としてはあったが、それはないのか。

会社：それは無い。

組合：これだけ車掌の必要数が減ると、社員運用として運輸部門の養成に影響がでるのではない
か。車掌としての行く場所がない。

会社：車掌となった後に運転士へ移行していく。すぐに影響が出る物ではない。制度として変更となれば皆さんに説明していくことになる。

組合：先が見えないような状況となっている。異動となれば本人・家庭に大きな影響を及ぼすことになる。ワンマン化は組合として反対であるが、本人と家庭に負担にならないように。

会社：丁寧に面談等を行いながら進めて行く。

組合：ここまでの規模の効率化は覚えがない。震える思いだ。繰り返すが社員本人と家庭へ負担とならないように。組合としては状況をしっかり見ていく。

以 上

2025 年 4 月 23 日
東海鉄道事業本部

2025 年度要員計画について

1. 2025 年度初要員数

	駅	運輸	車両	施設	電気	その他	出向	新採者	計
必要人員	890	1,600	420	470	410	640	—	—	4,430
社員数	1,110	1,760	510	470	440	730	380	80	5,460

※その他は非現業・防災センターを示す。

※社員数には専任社員を含み、出向受社員、契約社員を除く。

※数字は四捨五入(10 単位(四捨五入))のため、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合がある。

2. 2025 年度要員計画

(1) システム化・省力化等 ※実施時期は予定

車両区における業務執行体制の見直し	2025 定期異動日	(△2)
車両区、工場における業務執行体制の見直し	2025 年 10 月	(△4)
在来線名古屋駅における駅輸送体制の見直し(既提示)	2026 年 1 月	(△9)
駅営業体制の見直し(既提示)	2026 年 3 月	(△6)
ワンマン運転の実施列車の拡大(既提示)	2026 年 3 月	(△40 程度)
315 系 4 両編成でのワンマン運転の実施(既提示)	2026 年 3 月	(△40 程度)

(2) 出向計画

54 歳に達した日以降の出向 約 20 人

※上記以外の出向については必要に応じ個別に実施する。

(3) 採用実績、退職実績及び専任社員数

① 採用実績

	高校卒				合計
	運輸	車両	施設	電気	
2024 年度	32	8	6	6	52
2025 年度	55	8	9	6	78

② 2024 年度退職実績

定年退職	5 人
その他退職	54 人

③ 専任社員数

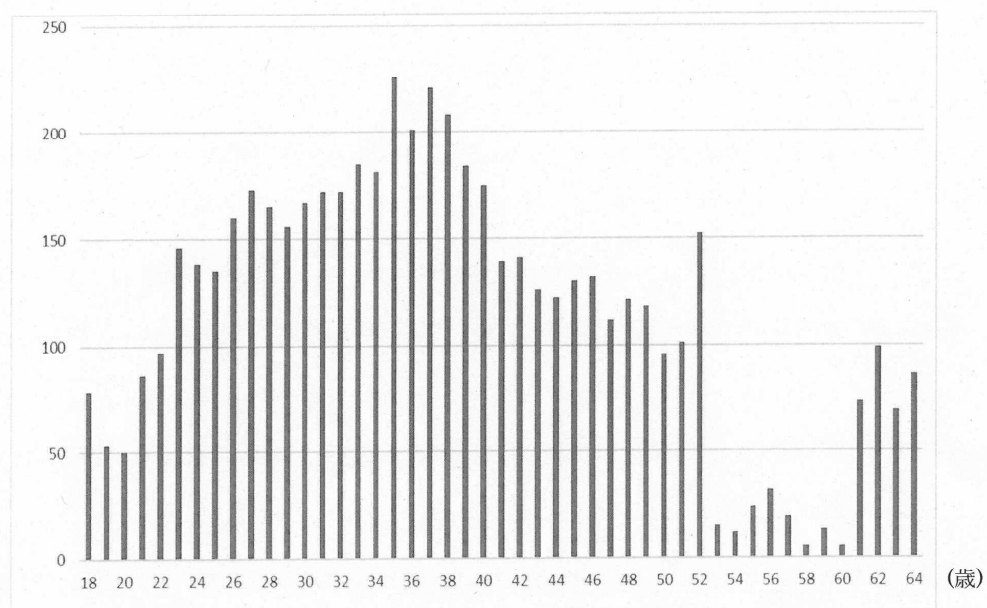
2024 年度初専任社員数	427 人（うち出向 229 人）
2025 年度初専任社員数	304 人（うち出向 169 人）

(4) 乗務員養成計画数

運転士	約 100 人
車 掌	約 90 人

[参考] 社員年齢構成 (2025 年 4 月 1 日現在)

(人)



2025 年 4 月 23 日
東海鉄道事業本部

車両区における業務執行体制の見直しについて

神領車両区における業務執行体制の見直しについて、下記のとおり実施する。

記

1 実施内容

中央線（名古屋～中津川間）を運転するすべての快速・普通列車を 315 系に統一したことにより、神領車両区における分割・併合作業を削減した。これに伴い、要員体制を下記のとおり見直す。

2 実施箇所・要員増減

箇所名	職種	担務	勤務種別		要員増減
			現	改（予定）	
神領車両区	一般	仕業誘導G	交代8形	日勤2種	△2

3 実施時期

2025 定期異動日

以上

2025 年 4 月 23 日
東海鉄道事業本部

車両区、工場における業務執行体制の見直しについて

美濃太田車両区及び名古屋工場における業務執行体制の見直しについて、下記のとおり実施する。

記

1 実施内容

当社が保有すべき技術力の確保、及び東海交通機械(株)の業務効率化のため、美濃太田車両区及び名古屋工場において、一部検修業務を委託及び委託解消する。これに伴い、要員体制を以下のとおり見直す。

2 実施箇所・要員増減・実施時期

箇所名	職種	要員増減	実施時期
名古屋工場	一般	△4	2025 年 10 月 (予定)
名古屋工場	一般	△3 (予定)	2026 年度 (予定)

(参考)

- ・美濃太田車両区にて要員増「+5」を実施(職種：一般)
※実施時期：2025 年 10 月 (予定)
- ・名古屋工場にて要員増「+2」を実施(職種：一般)
※実施時期：2025 年 10 月 (予定)

以上

2025年4月23日
東海鉄道事業本部

在来線名古屋駅における駅輸送体制の見直しについて

在来線名古屋駅における駅輸送体制の見直しについて、下記のとおり実施する。

記

1 実施内容

在来線名古屋駅のホームに常駐し、乗務員に出発指示合図等を送る駅係員について、安全を確保しながら、他の係員との業務分担と機能配置を見直すことで、廃止する。これに伴い、名古屋駅輸送体制を見直すこととする。

2 実施箇所・要員増減

箇所名	職種	担務	勤務種別		要員増減
			現	改（予定）	
名古屋駅	輸送	列車扱い	交代8形×6	—	△9
		接続	—	交代8形	
		放送	—	交代8形×2	
		操車	日勤2種	交代8形	

3 実施時期

2026年1月（予定）

以 上

2025年4月23日
東海鉄道事業本部

ワンマン運転の実施列車の拡大について

ワンマン運転の実施列車の拡大について、下記のとおり実施する。

記

1 実施内容

飯田線においてワンマン運転を実施する区間を中部天竜～天竜峡間にも拡大し、合わせて2両ワンマン運転を実施する列車を拡大する。これに伴い、要員体制を下記のとおり見直す。

2 実施箇所・要員増減

箇所名	職種	要員増減
豊橋運輸区 伊那松島運輸区	車掌	△40程度

3 実施時期

2026年3月（予定）

以 上

2025年4月23日
東海鉄道事業本部

315系4両編成でのワンマン運転の実施について

315系4両編成でのワンマン運転について、下記のとおり実施する。

記

1 実施内容

関西本線及び武豊線において、315系4両編成でのワンマン運転を実施する。これに伴い、要員体制を下記のとおり見直す。

2 実施箇所・要員増減

箇所名	職種	要員増減
名古屋運輸区 亀山運輸区 伊勢運輸区	車掌	△40程度

(付記)

亀山運輸区においては、車掌職種の配置はなくなる見込である。

3 実施時期

2026年3月(予定)

以 上